

校長室から 14 本校が「三菱みらい育成財団」による助成事業に採択されました！

～ 「心やさしき社会のリーダー」へ光陵の伝統とSDGsのミックスアップ ～

本校では、育みたい生徒像として「心やさしき社会のリーダー」を掲げ、様々な教育活動に取り組んでおります。複雑かつ変化が激しく先の読めない時代に、自分のもっている能力、専門性を生かしながら、他者と力を合わせて物事に対処していくには、どのような力を、どのように育成していけばよいのか。そのための具体的な取組みが、本校の「KU（光陵ユニバース/総合的な探究の時間）」です。

KUでは、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断したりよりよく問題を解決する資質や能力を育成する」ことを目標とし、生徒個々が設定したテーマに対する探究活動を行っています。特に1年次には、探究活動の手法の基礎を身につけつつ、テーマ設定に多くの時間を費やしています。なぜこのテーマを選んだのか、何を問いたいのか、これを探究することで何が得られるかなどを突き詰めていきます。このように、テーマ設定は探究活動において最も重要なポイントであり、ここを充実させるために、平成30年度からは、SDGsへの理解を、各教科・科目を含めて横断的に取り組んでおります。このことにより、生徒の興味・関心が、社会とつながり、自分の課題は自分ひとりの課題ではない、社会貢献につながるものであるという自覚が芽生え、より深い探究活動へとつながっていています。

探究活動の成果は、校内発表会の他、横浜国立大学教育学部附属横浜中学校と連携して光陵祭での成果発表や、横浜国立大学主催の「i-ハーベスト発表会」で披露しています。また、研究論文として残す他、校外の発表会や、コンクール等にもエントリーしています。

今年初めに、三菱みらい育成財団 (<https://www.mmfe.or.jp/>) による「心のエンジンを駆動させるプログラム」を対象とした助成事業があることを知りました。

※「心のエンジンを駆動させるプログラム」は、生徒の興味や好奇心を刺激する領域をテーマに、具体的な「問い」を自ら深堀することで自分の将来の生き方を考えることに繋がるプログラム

まさしく本校が目指していることと合致すると考え、応募した結果、一次、二次審査を経て、助成を受けることとなりました。SDGsへの関わりや、生徒たちの探究活動の充実、他校への普及等に活かしていくことができると考えています。